

東北ブロック会議 4年ぶりに開催される

東北ブロックは青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島で構成されているが、各県共に維持会員数も少なく、細々とした活動が続いています。

これまでは、同窓会本部の役員選出は輪番制で定めており、ブロック内では、これと言った話題もなくブロック会議は行われてきませんでした。紫野会長からの開催要請もあり平成 22 年 11 月 6 日青森県八戸市においてしばらくぶりに開催しました。

各県共にブロック開催予算を計上するだけの財力もないことから、会長・事務局長を中心に会議を開催しましたところ、本部から紫野会長と各県役員の方々が参集していただきました。

会議の概要は次のとおりです。

自己紹介の後、紫野会長から近況と課題について報告があり、今後の東北ブロック会議のあり方について忌憚のない意見が出された。

- ①ブロック会議は、開催地は各県持ち回りでなく、各県の利便性と経費の関係から当分の間宮城県の仙台市で開催することとし、事務局はブロック代表理事県とし、理事選出輪番計画どおり行うこととした。(その他の付帯意見として、雪の降らない暖かい時期の開催注文があった。)
- ②議題は、近況やその時の課題を出し合い討議することにした。その他、会員の意見として、代議員会の状況報告、理事会の状況報告もお願いしたいとの意見があり、対応することにした。
- ③各県の課題として、若手維持会員の加入、参加が少なく、現在の維持会員は高齢化となりこのままでは支部の活動そのものが出来なくなる。また、高齢者の同窓生から、支部同窓会活動を脱会したい旨の手紙が各支部共に寄せられているとの報告もあった。

このことについては、若いときに活動した経歴をも踏まえ、「名誉会員制度」などの検討を本部にお願いしたいとの要望も出された。

- ④若手維持会員が各支部に参加しないのは、学生時代から県人会などを通じて育成すべきである。同窓会本部や大学では、学生の自主性に任せてと云うが、現代の学生に自主的行動を待っていても立ち上がらないので、同窓会本部活動の一環として学生に県人会を組織させてほしいとの意見も出された。(学生も立派な準会員なのだから)

以上、会議内容を簡単ご紹介しました。末尾になりますが、紫野会長には遠路八戸までおいで頂き誠に有難うございました。感謝申し上げます。

追伸

勿論、みんなで懇親会を行い、楽しいひとときを過ごすことが出来ましたことを申し添えます

青森県支部竹内（22.11月末日記）

